

令和元年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校

校長 笹川 康詩

評 価 日	令和2年1月18日（土）	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ① 確かな学力の育成 ・「第7回高校生ビジネスグランプリに」参加するとともに継続して応募していただきたい。 ② 豊かな人間性の育成 [問題行動ゼロについて] ・1年次生の遅刻回数が多くなった特別な原因はないか。また対策はどうであったか。回数が減えないようにしてほしい。 ③ 自己実現のための進路指導の充実 [産業社会と人間・プレテーマ学習・テーマ学習] (学習成果発表会を参観して) ・社会的な問題に対し、すごく意識が高い印象を持った。 ・できれば3年次生には米子市に提言していただくとありがたい。 ・毎年見ているが、どんどんレベルアップしている。 ・成功例だけでなく失敗例も大事である。揺れ動いた心を整理するために、1年次生の発表は良かった。 ・年々聴く態度も良く、発表者に質問や意見を述べる機会があったらいいと思う。 ・コミュニティ・スクールのメンバーを利用して、話をしてもらったりすることを考えてもらえたら協力します。 [進路希望の実現について] ・数的に昨年度を越えることができなかったかもしれないが、十分な結果が出ていると評価できる。 ・入学時に各自の目標を設定させ、その達成率を表すとよい。 (2) 説明・公表について [保護者アンケートについて] ・評価されており、教育目標の実践が行われていると感じた。		・来年度も継続し、取り組む予定である。 ・引き続き、SNSのトラブルを防ぎ、問題行動ゼロを目指していきたい。 ・遅刻は同じ生徒が繰り返す傾向があり、家庭と連携を取っているところである。 ・今年度は県内外から総合学科の教員・生徒を招待し、運営することができなかった。来年度は総合学科間の連携を推進していく。 ・3年次生テーマ学習発表会はポスターセッションを行っているので、要望があれば見ていただきたい。 ・今年度は例年並みの就職と進学割合であった。4年制国公立大学の希望者が少ないところが課題である。学習成果発表会のレベルを上げ進学につなげたい。
2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・予算執行も着実に実行されており、未執行の事業についても詳細に予定されており問題ない。		・米子高校ビジョンに示したとおり重点校制度の柱に則って、アクティブラーニングの推進と地域連携事業による地域貢献をととして生徒の社会人基礎力の育成に努めたい。
3 取組改善のための提言 [令和2年度県立学校裁量予算について] ・継続、新規として変化のある多くの特色のある取り組みがあり、大変楽しみである。		・農業交流や特別支援学校交流を拡充し、アクティブラーニング中学生出前講座を新規に取組み生徒の交流活動を活性化させたいと考える。